



日本国際飢餓対策機構(Japan International Food for the Hungry: 略して JIFH)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、人材育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓発などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、20ヶ国60の協力団体とともに、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、現地パートナーと協力しあって、「こころからだの飢餓」に応える働きをしています。



一般財団法人 日本国際飢餓対策機構

1分間に17人(内12人が子ども)  
1日に2万5,000人  
1年間では約1,000万人が  
飢えのために生命を失っています。

# 飢餓対策ニュース

わたしから始める、世界が変わる



5月カンボジア里親訪問ツアーの一コマ(6面に記事)

## 父の日プレゼントを

協力企業キングダムビジネスから  
頑張るお父さんに愛を込めて、安らぎの贈り物を用意いたしました。

- ◆人気のレギュラーコーヒー:モカブレンド2袋
- ◆フェアトレード紅茶:アールグレイ(リーフ)1袋
- ◆おいしい備蓄食パンの缶詰:オレンジ味1缶
- ◆素敵なグリーティングカード1枚

合計5点セット税込2,949円を税込2,800円

送料無料でお届けします。

(北海道・沖縄へは別途600円ご負担願います)

★先様へ直接お届けをご希望の際は、お申し込みの時に請求書の送付先をお知らせください。



【お求め、問合せ先】  
 (株)キングダムビジネス  
 TEL:06-6755-4877 FAX:06-6755-4888  
 電話受付:平日9時~16時  
 Web:キングダムビジネスで検索。父の日プレゼントから。(売上の一部はJIFHに募金されます)

## 8月ハンガーゼロH2アジアリテータートレーニング

海外での活動をめざす方に特別な学習の機会です。ぜひご参加ください!

広島で初開催

日時:2014.8/11(日)~8/16(土)  
 場所:三滝グリーンチャペル スマイル館  
 〒733-0802 広島県広島市西区三滝本町2-10-24  
 費用:30,000円(食費、宿泊費、テキスト代込み)  
 お問合せ:☎072-920-2225(大阪・吉本)  
 定員:12名

## メールマガジン配信を始めました!

~ぜひ登録してお読みください~  
 当機構の活動報告やお知らせ、ブログ更新情報を毎月1回配信。(緊急情報を随時配信する場合もあります)下記より登録できます。  
<https://www.jifh.org/mail/>

## 2014夏 海外ワークキャンプの参加者を募集中です

### ●フィリピン ワークキャンプ

日程:7月31日(木)~8月9日(土) 費用:16万8千円 定員:12名  
 内容:マニラの貧困地域で子どもの支援をしているフィリピン NGOを訪ねて貧困問題を学ぶ。又マインドロ島、サンアンドレス小学校で建設作業のお手伝い。

### ●ウガンダ ワークキャンプ(※4~5面に現地情報掲載!)

日程:8月18日(月)~30日(土) 費用:33万8千円 定員:10名  
 内容:国際飢餓対策機構ウガンダがナムトゥンバで実施している活動について学び、現地の人々と共に、教室建設のお手伝いをします。



※定員になり次第締め切ります。申込みは東京事務所・福地まで。参加にあたり当機構の会員登録が必要となります。また未成年者は保護者の同意書が必要です。お申し込みはお早めに!

## ハンガーゼロサポーターを大募集中!!

現在... 3542口

- ハンガーゼロ・サポーターとして協力します。毎月( )口 (1口1,000円)
- チャイルド・サポーター(世界里親会)になりたいので説明書(申込書)を送ってください。
- 海外スタッフ・サポーターとして協力します。毎月( )口 (1口1,000円)
- JIFHサポーターとして協力します。毎月( )口 (1口500円)
- 今回に限り( )円協力します。
- 郵便自動引落し申込書を送って下さい。
- その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

## 今すぐ各種支援のお申し込みができます!!

●まず右の必要事項に記入して、点線の枠部分を切り取りハガキに貼って、下記の大阪事務所宛に郵送、又はこの頁をコピーして、ファクシミリで申し込みください。確認のための必要書類を送らせていただきます。  
**お電話でも申し込みできます。各事務所までおかけ下さい。**

フリガナ 氏名: \_\_\_\_\_ 男・女  
 〒 \_\_\_\_\_  
 フリガナ 住所: \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ (電話)  
 ▼申込日: \_\_\_\_\_年 月 日▼NL号

# FAX・072-920-2155

■発行者 岩橋竜介

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構

Webサイトアドレス <http://www.jifh.org/>  
 eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
 フェイスブック <https://www.facebook.com/hungerzero>

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイトで

- 郵便振替 00170-9-68590 / 日本国際飢餓対策機構
- 他の金融機関からの自動振替 ●クレジットカード、デジタルコンビニ

今すぐ募金が出来ます!

JCBカードも使えるようになりました!

かざして募金

大阪	〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1 TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155
東京	〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室 TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782
東北	〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6 エマオ2階E TEL(022)217-4611 FAX(022)217-6651
愛知	〒466-0064 名古屋市中区鶴舞3-8-10 愛知労働文化センター2F TEL(052)731-8111 FAX(052)731-8114
広島	〒730-0036 広島市中区袋町4-8 CLCボックス2F TEL(082)546-9036 FAX(082)546-9037
沖縄	〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米202号 TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216
USA	Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa 8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605 TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940

毎月、飢餓対策ニュースを皆様にお届けするために、ひばり障害者作業所(八尾市)、生活愛関西地区のボランティアの皆様が送付作業のご協力を下さっています。

## 愛の輪が広がるために

先月、とても感動的なニュースを聞きました。ベトナムで反中国のデモ隊が暴徒化し、中国系工場を取り囲み不穏な空気が流れる中、取り残された6名の中国人を救出するため、隣接する日系工場の従業員が機転を利かせ、配達を装い日本の旗を掲げたトラックで、こっそりと6名を運び出したのです。色々政治的な思惑で私たちの思いが右往左往させられる中、一人の善意が輝きを見せた瞬間でした。

我が家では今年に入ってから長男に続き次男も海外で暮らすようになり、親として毎日、子どもの名を挙げて無事を祈らない日はありません。また同じく昨年より里子となったケニアの一人の少女のためにも、朝ごとに妻と祈る時、必ず名前を挙げて祈ります。特に昨今、飢餓対策ニュースを読むにつけ、海外からの報道を聞くにつけ、これまであまり関心を持つことがなかったアフリカの国々も、名前を挙げて祈るようになりました。ナイジェリア、中央アフリカ、マリ、コンゴ、南スーダン...等々。遠い国のことだから...。知らなかったから...。自分の家族ではないから...。私たちが祈らず、何もしない言い訳はいくつもあってもいいでしょう。

しかしあなたがそれらの国々や、そこに住む人々を覚えて

日本国際飢餓対策機構 特命大使 近藤高史

「名前を挙げて」祈り出したらどうでしょう。あなたはすぐにあることに気付くはず。そうです。あなた自身が変わり始めるという経験です。日本国際飢餓対策機構では「わたしから始める、世界が変わる」という言葉を使いますが、これは決してうわべだけの美辞麗句やスローガンではありません。本当に私やあなたの中で始まる小さな一歩が、やがて世界を変えると本気で信じるので、誇りをもってそうお伝えするのです。

たとえば里子の一枚の写真をあなたが受け取ったとしましょう。毎朝、祈りにその子を覚えるうちに、不思議とどんな暮らしをしているだろう...? 家族や友達はいるだろうか...? 学校は...? 将来は...? というように興味と関心となり、やがて愛情へと変わっていきます。あなた自身がその愛に満たされたなら、今度は誰かにそれを伝えずにはいられなくなるはず。そうやって一人から一人へと「愛の輪」が広がってゆくこと、それが私たちの願いなのです。

「あなたを形造った方、主はこう仰せられる。恐れるな。わたしがあなたを贖ったのだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの。」(イザヤ書 43:1)





### ナムトゥンバ・マガダ 地区の人々の生活環境

人口：7,300人 90%が農業（貧困率49%）  
学齢期の子ども数 3,139名  
住：トタン屋根とレンガの家が多数  
水：水源までの距離は平均3.3km  
トイレ：ほとんどなく外の茂みで用足し  
（そのためコレラ、赤痢、下痢、寄生虫が発生）

カサーレの95%の家庭は農業で生計を立てています。非効率な農法で生産量が少なく、現金収入を得るためにそれを売却するので、家族が食べるものが十分になく、栄養失調になっている人が多い状態です。子どもも幹線道路に出てマンゴやオレンジなどを売って生計の足しにしています。また子どもや妊婦にマラリアの感染が多いので対処が必要です。

学校では給食はなく、とうもろこしの粉を提供できる保護者の子ども（280人）だけ、提供された粉で作ったおかゆをお昼に食べることができます。残り半数の子どもは昼食ぬきか、家が近い子は何か食べに家に帰ったり、学校を出てマンゴやジャックフルーツなどの果物を取りに行ったりして飢えをしのいでいます。



### ウガンダ・カサーレ小学校教室建設プロジェクト

# 子どもたちにぜひ教室を！

ウガンダ・ナムトゥンバのマガダ地区にあるカサーレ小学校は、チャイルドサポーターの皆さんが支援してくださっている世界里親会マガダ地区の里子たちが通っている学校です。

ナムトゥンバ地域は小学校レベル、セカンダリーレベル共に教育環

境が整っておらず、ウガンダ国内でも底辺に位置しています。この学校には1年生から7年生まで508名の生徒が学んでいますが、すべての生徒を9人の先生が教えています。しかし、教室が2つしかなく、1、2年生、6、7年生の280人がその教室を使っています。一方3、4年生と5年

生の228名は教室に入れないので外の木陰で勉強している状態です。

#### 雨と砂ノミに悩む子どもたち

里親さんの支援を受けて張り切って学校に通ってくる子どもも、木の下では雨が降れば勉強できません。特に雨季の3月から6月、11、12月に外で勉強するのは難しい状態で、仕方なく家に帰っています。また机や椅子が雨ざらしになるため、傷みがひどく壊れたままのものがたくさん

あります。

外で勉強するのを避けたいもうひとつの理由は、この地域には多くの砂ノミが生息していて、素足でいるとかまれる危険があることです。このノミは、はじめは体長1mmですが、メスのノミが足の裏やつめの周りに食い付いて皮膚の中に入り込み、血を吸って卵をはらんで1cmくらいに成長します。非常に傷みを伴うもので、掻くと化膿して潰瘍化します。子どもは血を吸われるので死に至る場合があります。切開してノミを取り出す必要がありますが、このノミに刺されるのを予防するためにも床のある校舎が必要です。

#### 地域の人々がレンガを寄贈

カサーレ小学校に通う子どもたちのために、JIFHはこの学校の教室の建設を支援することになりました。



教室建設のために地域の人々から寄贈された日干しレンガの前で

#### ウガンダ・カサーレ小学校 教室建設プロジェクト募金

1口 5,000円  
目標 1,000口

ご協力をお願いいたします！

2014夏の  
ワークキャンプ  
参加者募集中！

カサーレ小学校  
建設の手伝いを  
しませんか！

8月18日から30日のウガンダワークキャンプではこの学校の教室建設のお手伝いもする予定です。参加して下さる方を募集中、定員は10名です。作業は男女に関係なくできます。

参加費用：33万8千円  
申込みは、東京事務所まで

FHウガンダが教室建設計画と建設用のレンガの提供を地域の人々に呼びかけたところ、すでに2,000個以上集まっていて5月末には2万個集まるだろうということです。

地域の人々と子どもたちの将来に対する期待に応えるために、皆さまのご協力を是非お願いいたします。



砂ノミに悩まされる子どもの足

